



吉田製油所 工場・設備紹介

会社概要

株式会社吉田製油所

創業：1909年（明治42年）

資本金：70,000,000円

事業内容：1. 木材防腐剤、白アリ予防駆除剤、木材保護塗料、
アスファルト製品、タール製品の製造及び販売
2. 各種OEM、受託製造

従業員：35名

本社：東京都台東区上野3-22-8 THE PORTAL 御徒町

工場：神奈川県川崎市川崎区浮島町11-2

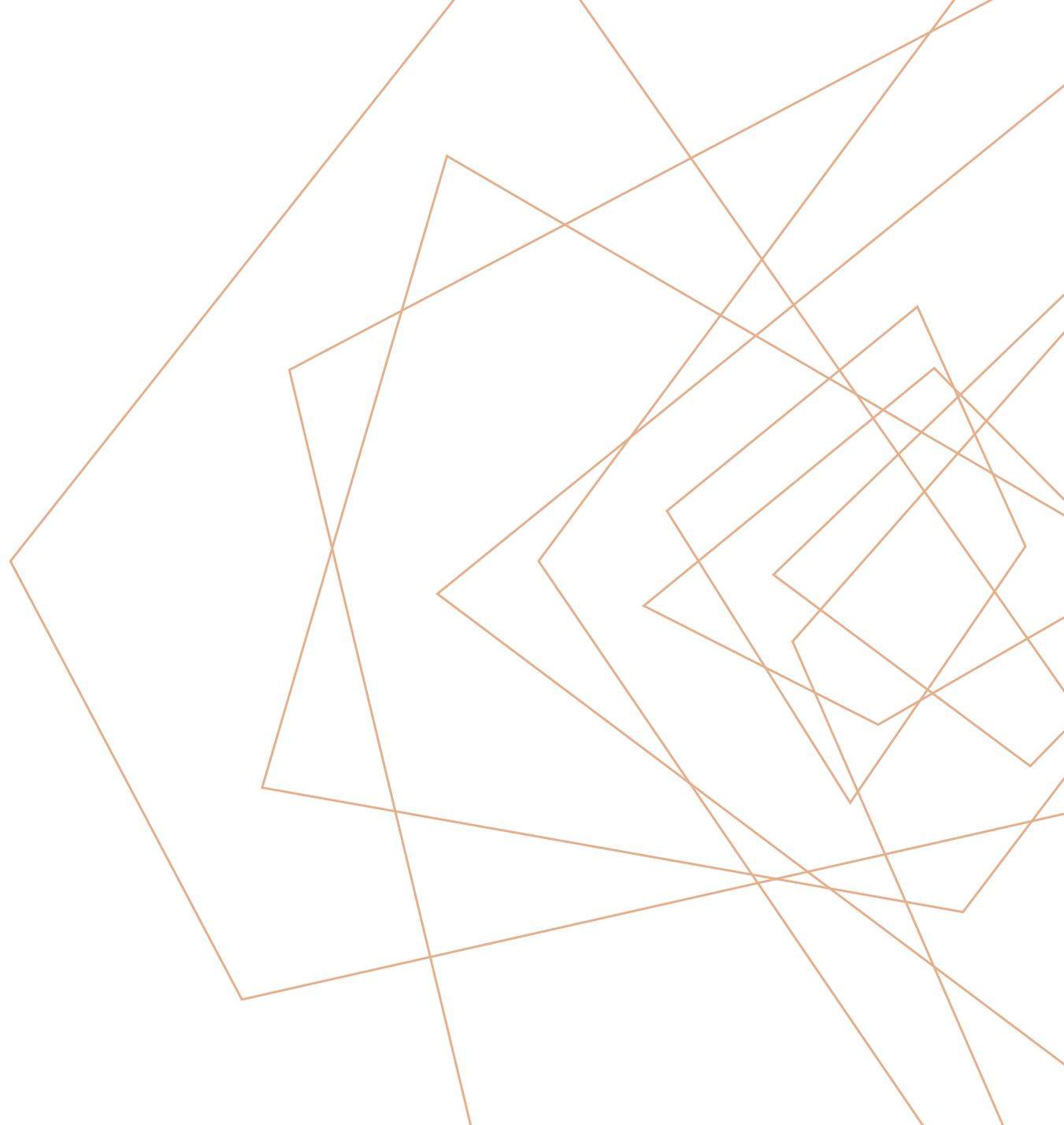


HPはこちらから

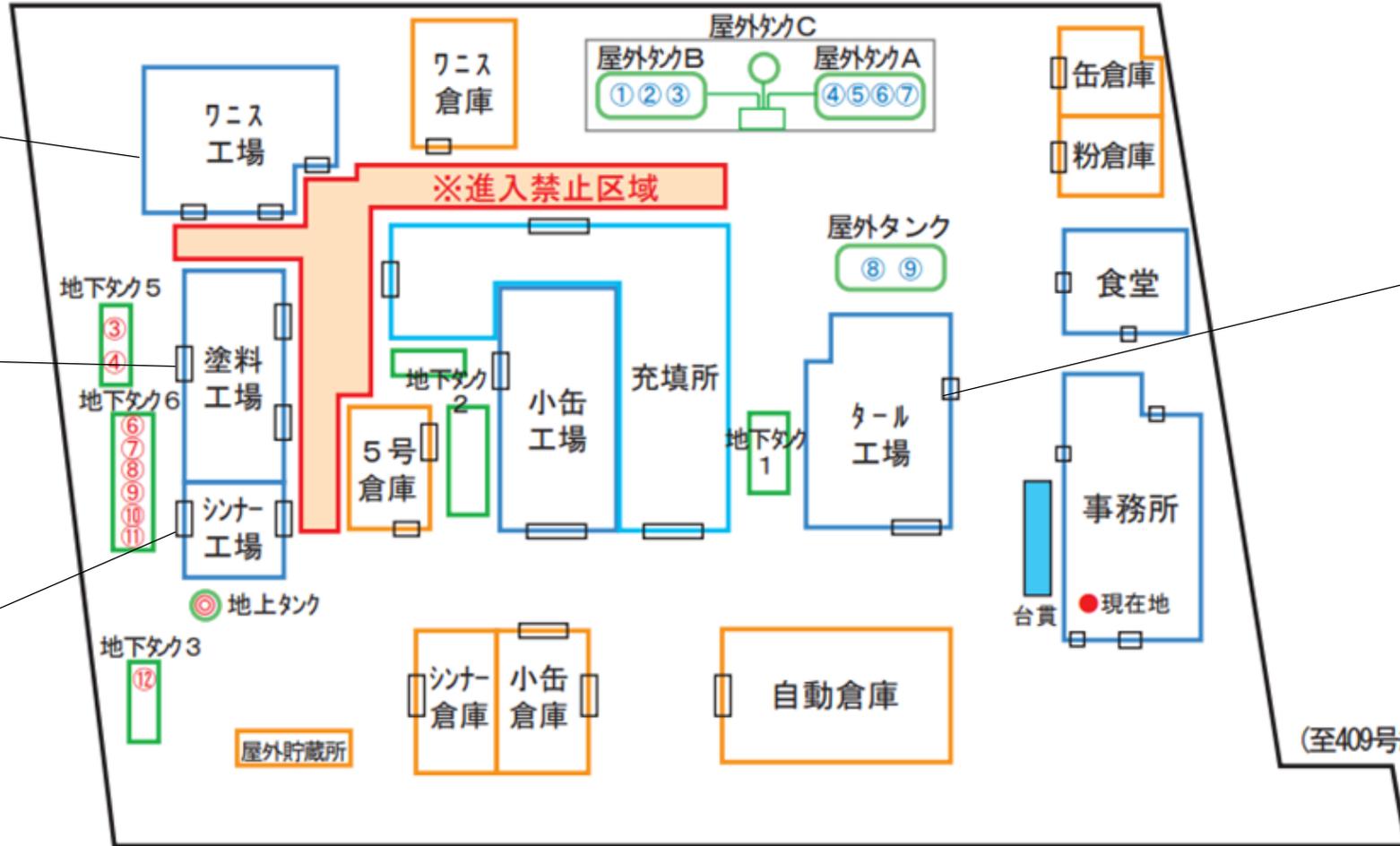
工場・設備情報

川崎工場では、ほぼ全ての製品の製造・出荷を行っています。

最大10,000Lのタンクがあり、ローリーでのアクセスも可能です。また、高速液体クロマトグラフ（HPCL）など各種機器による検査も行っております。



※ (株)吉田製油所 構内図



③ワニス工場

②塗料工場

①シンナー工場

④タール工場

①シンナー工場

屋外に設置されたタンクで、タンクローリーのアクセスが容易な配置になっている。但し、加熱が出来ない混合槽。



V1タンク

種類：混合槽
タンク材質：SUS
容量：6,000L
能力：1.5kw+還流混合
主な用途：シンナー類の混合(着色付加)



V2タンク

種類：混合槽
タンク材質：SUS
容量：6,400L
能力：2.2kw+還流混合
主な用途：シンナー類の混合

② 塗料工場

加熱不可



PH-03V 2Kタンク

種類：混合槽
タンク材質：SUS
容量：2,000L
能力：30kw
主な用途：低粘度から高粘度の
ファイラーを含む商品の混合



PH-04V V1_2Kタンク

種類：混合槽
タンク材質：SUS
容量：2,000L
能力：37kw
主な用途：低粘度から高粘度の
ファイラーを含む商品の混合



PH-04V V2_4Kタンク

種類：混合槽
タンク材質：SUS
容量：4,000L
能力：37kw+
主な用途：低粘度から高粘度の
ファイラーを含む商品の混合

③ワニス工場

MAX約300℃まで加熱可



V-103号タンク

種 類：反応槽
タンク材質：SUS
容 量：7,000L
能 力：22kw+還流混合
主な用途：樹脂の合成。低粘度から
中粘度の油性製品の混合
(フィルターなし)



V-2号タンク

種 類：反応槽
タンク材質：SS(鉄)
容 量：2,500L
能 力：5.5kw+還流混合
主な用途：アスファルト系瀝青商品の
混合



V-4タンク

種 類：反応槽
タンク材質：SUS
容 量：2,500L
能 力：5.5kw+還流混合
主な用途：樹脂の合成。低粘度から
中粘度の油性製品の混合
(フィルターなし)

④ タール工場

タンクローリーのアクセス可能。MAX約180℃まで加熱可。



1号加熱混合タンク

種類：加熱混合槽
タンク材質：SS(鉄)
容量：10,000L
能力：5.5kw+還流混合
主な用途：コールタール専用
タール系瀝青商品の混合
(フィルター不可)



7号加熱混合タンク

種類：加熱混合槽
タンク材質：SS(鉄)
容量：10,000L
能力：7.5kw+還流混合
主な用途：アスファルト専用
アスファルト系瀝青商品の混合
(フィルター不可)

検査機器

【高速液体クロマトグラフ(HPLC)】

HPLCは試料に含まれる複数の溶質成分を迅速かつ同時に定性・定量が可能で、分析値の再現性にも優れています。



【フーリエ変換赤外分光光度計】

主に有機化合物の構造推定(定性)を行う分析装置です。最小限のサンプル前処理で定性及び定量情報がすばやく得られます。



【動粘度測定装置】

液体の動粘度を測定する為の装置。ストークスやセンチストークスで表します。



【引火点測定器】

セタ密閉式(迅速平衡密閉法)引火点測定。JIS K 2265-2では引火点が $-30\text{ }^{\circ}\text{C}$ ~ $300\text{ }^{\circ}\text{C}$ の石油、塗料、ワニス、塗料バインダー、接着剤、溶剤、脂肪酸メチルエステル及びこれらの関連製品の引火点を求める方法として規定されています。



【水分計】

水分計は物質内にどれくらいの水分量が含まれているか測る機器です。物質内にどれほどの水が含まれているかを測ることで物質の状態を把握し、物質の品質を保つことができます。



【粘度計装置】

粘度計は液体や粘性のある物質の流れの抵抗を測定するための装置です。回転粘度計は液体のせん断速度とせん断応力の関係を計測することで、粘度を求めます。

